

2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年1月30日

上場会社名 山洋電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6516 URL <https://www.sanyodenki.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役会長（氏名） 山本茂生
 問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員管理部門統括（氏名） 岩山昌樹（TEL） (03)5927-1020
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	71,714	△17.1	4,904	△49.3	5,492	△48.5	4,002	△48.8	4,001	△48.8	5,146	△56.3
2024年3月期第3四半期	86,556	△3.1	9,674	△0.4	10,663	1.8	7,815	△4.8	7,814	△4.8	11,772	35.9
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2025年3月期第3四半期	335.64		335.54									
2024年3月期第3四半期	645.37		645.37									

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属 持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	151,458	113,760	113,748	75.1	9,538.16
2024年3月期	150,688	110,373	110,358	73.2	9,258.58

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	70.00	—	75.00	145.00
2025年3月期	—	75.00	—		
2025年3月期(予想)				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,100	△14.9	6,600	△44.1	6,300	△52.7	4,700	△55.1	394.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	12,972,187株	2024年3月期	12,972,187株
2025年3月期3Q	1,040,092株	2024年3月期	1,045,982株
2025年3月期3Q	11,923,639株	2024年3月期3Q	12,108,327株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費が堅調ながらも製造業は景気回復の途上であり、また、中国および欧州では景気が減速し、経済活動が停滞する動きとなりました。

日本経済は、国内の設備投資を中心に、緩やかに景気が回復する兆しが見えましたが、世界経済の減速にともない輸出が減少したため、経済活動は弱い動きとなりました。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である通信装置、ロボット、半導体製造装置などのファクトリーオートメーション市場からの需要は全体的に低調でしたが、一部に回復の兆しが見られました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上収益は71,714百万円（前年同期比17.1%減）となり、連結営業利益は4,904百万円（前年同期比49.3%減）、連結税引前四半期利益は5,492百万円（前年同期比48.5%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は4,001百万円（前年同期比48.8%減）となりました。

受注高は64,583百万円（前年同期比15.0%増）、受注残高は37,207百万円（前年同期比27.8%減）となりました。

当社は、経営基盤と事業体制の強化を目的とし、2024年4月1日付で社内カンパニー制を導入しました。取締役会は、各カンパニーの業績をもとに経営資源の配分、意思決定、評価をおこなうことから、報告セグメントを、地域別のセグメント区分からカンパニー別のセグメント区分に変更いたしました。

変更内容の詳細は、「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」をご参照ください。

各セグメントの業績は次のとおりです。前年同期の比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値にておこなっています。また、当第3四半期連結累計期間よりセグメント売上収益には外部顧客への売上収益を記載しています。

2025年3月期 第3四半期連結累計期間 セグメント別損益計算書 (単位：百万円)

	サンエース カンパニー	エレクトロ ニクス カンパニー	モーション カンパニー	その他	調整額 (注2)	合計
売上収益 (注1)	28,244	15,180	24,369	3,920	—	71,714
売上原価	18,677	11,539	20,104	3,440	△73	53,688
売上総利益	9,567	3,641	4,264	479	73	18,026
販売費及び一般管理費	5,256	3,584	4,177	481	—	13,500
その他の収益及び費用	323	19	20	15	—	379
営業利益	4,634	76	107	12	73	4,904

(注) 1. セグメントごとの外部顧客への売上収益を記載しています。

2. 調整額は、セグメント間取引の消去によるものです。

①サンエースカンパニー

サンエースカンパニーの製品「San Ace」は、高性能サーバやその周辺機器向けの需要が堅調でした。また、北米や国内の販売店からの需要に回復の兆しが見られました。一方、無線基地局などの通信インフラ機器、ロボットや工作機器の制御装置、半導体製造装置向けの新たな需要は低調でした。

その結果、セグメント売上収益は28,244百万円（前年同期比15.5%減）、セグメント利益は4,634百万円（前年同期比37.0%減）、受注高は22,935百万円（前年同期比15.3%増）、受注残高は13,056百万円（前年同期比38.2%減）となりました。

②エレクトロニクスカンパニー

エレクトロニクスカンパニーの製品「SANUPS」は、消防・高速道路関連の社会インフラ向け、および防衛システム向けの需要が堅調でした。また、再生可能エネルギー向けの需要は自家消費用途を中心に堅調に推移しました。一方、半導体製造装置用途向けの需要は低迷しました。

エレクトロニクスカンパニーの製品「SANMOTION」は、半導体製造装置、ウェハ搬送ロボット向けの需要は、一部に回復の兆しが見られましたが、全体として低調でした。また、中国市場の低迷が続く、金属加工機、射出成形機、工作機械向けの需要は低調でした。

その結果、セグメント売上収益は15,180百万円（前年同期比13.4%減）、セグメント利益は76百万円（前年同期比93.6%減）、受注高は14,362百万円（前年同期比8.7%増）、受注残高は10,657百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

③モーションカンパニー

モーションカンパニーの製品「SANMOTION」は、電子部品実装機向けの需要が堅調でした。半導体製造装置、ウェハ搬送ロボット向けの需要は、一部に回復の兆しが見られましたが、全体として低調でした。また、中国市場の低迷が続く、金属加工機、射出成形機、工作機械向けの需要は低調でした。

その結果、セグメント売上収益は24,369百万円（前年同期比22.2%減）、セグメント利益は107百万円（前年同期比89.4%減）、受注高は23,138百万円（前年同期比22.3%増）、受注残高は11,587百万円（前年同期比33.5%減）となりました。

④その他

電気機器の販売事業、および電気工事業などを「その他」セグメントとして区分し、計上しています。

産業用電気機器・制御機器および電気材料は、医療機器関連の需要が増加し、堅調に推移しました。また、公共インフラ関連向けの需要も堅調でした。一方、半導体業界、ロボット業界向けの需要は低調でした。

電気工事業は、主要顧客である鉄鋼業界からの需要は、電気設備の点検、補修工事が計画どおりにおこなわれ堅調でした。また、一般産業向けの電気設備工事の需要も増加し、堅調に推移しました。

その結果、セグメント売上収益は3,920百万円（前年同期比8.7%減）、セグメント利益は12百万円（前年同期比88.4%減）、受注高は4,146百万円（前年同期比0.8%増）、受注残高は1,906百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

また、当社グループが事業展開する地域ごとの外部顧客への売上収益は次のとおりです。

(単位：百万円)

	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	合計
2025年3月期 第3四半期連結累計期間	43,686	15,354	5,297	6,428	947	71,714
2024年3月期 第3四半期連結累計期間	54,807	16,564	7,211	6,087	1,886	86,556

①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社、山洋電気ITソリューション株式会社があります。

②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC. があります。

③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S. A. およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。

④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD.、上海山洋電気技術有限公司、山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司、山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司、山洋電気（天津）貿易有限公司および山洋電気（成都）貿易有限公司があります。

⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC.、SANYO DENKI INDIA PRIVATE LIMITEDおよびSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD. があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産合計は770百万円の増加、負債合計は2,617百万円の減少、資本合計は3,387百万円の増加となりました。

資産の主な変動要因は、現金及び現金同等物の増加2,798百万円、営業債権及びその他の債権の減少2,008百万円、その他の流動資産の増加1,493百万円、有形固定資産の減少1,302百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、借入金（流動負債）の減少2,516百万円、営業債務及びその他の債務の増加1,369百万円、借入金（非流動負債）の減少1,288百万円によるものです。

資本の主な変動要因は、利益剰余金の増加2,380百万円、その他の資本の構成要素の増加975百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、29,486百万円となり、前連結会計年度末より2,798百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、11,482百万円(前年同期間は15,969百万円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期利益5,492百万円、減価償却費及び償却費4,451百万円、営業債権及びその他の債権の減少額2,306百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動による資金の減少は、3,256百万円(前年同期間は5,548百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,018百万円、無形資産の取得による支出819百万円、その他による支出471百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動による資金の減少は、6,262百万円(前年同期間は8,507百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入金の純減少額1,973百万円、長期借入金の返済による支出1,938百万円、配当金の支払額1,787百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年10月30日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		26,687	29,486
営業債権及びその他の債権		32,095	30,086
その他の金融資産		691	1,017
棚卸資産		36,848	36,076
その他の流動資産		635	2,128
流動資産合計		96,958	98,796
非流動資産			
有形固定資産		27,271	25,968
無形資産		4,807	4,893
使用権資産		2,854	2,856
投資不動産		1,503	1,503
その他の金融資産		14,462	13,610
退職給付に係る資産		2,053	3,099
繰延税金資産		643	570
その他の非流動資産		133	159
非流動資産合計		53,729	52,662
資産合計		150,688	151,458
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務		17,441	18,810
借入金		7,984	5,468
リース負債		795	858
その他の金融負債		74	83
未払法人所得税等		1,136	83
その他の流動負債		2,705	2,533
流動負債合計		30,137	27,837
非流動負債			
借入金		3,934	2,646
リース負債		1,816	1,760
退職給付に係る負債		—	555
繰延税金負債		3,556	3,956
その他の非流動負債		869	939
非流動負債合計		10,177	9,859
負債合計		40,314	37,697
資本			
資本金		9,926	9,926
資本剰余金		11,494	11,507
利益剰余金		79,373	81,753
自己株式		△3,518	△3,497
その他の資本の構成要素		13,082	14,058
親会社の所有者に帰属する持分合計		110,358	113,748
非支配持分		14	12
資本合計		110,373	113,760
負債及び資本合計		150,688	151,458

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上収益		86,556	71,714
売上原価		63,933	53,688
売上総利益		22,623	18,026
販売費及び一般管理費		13,714	13,500
その他の収益		892	397
その他の費用		127	18
営業利益		9,674	4,904
金融収益		1,107	760
金融費用		118	172
税引前四半期利益		10,663	5,492
法人所得税費用		2,847	1,490
四半期利益		7,815	4,002
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		7,814	4,001
非支配持分		1	0
四半期利益		7,815	4,002
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		645.37	335.64
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		645.37	335.54

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期利益		7,815	4,002
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産		1,099	△661
確定給付制度の再測定		958	168
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		1,898	1,636
その他の包括利益合計		3,956	1,143
四半期包括利益		11,772	5,146
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		11,769	5,145
非支配持分		2	0
四半期包括利益		11,772	5,146

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2023年4月1日残高		9,926	11,467	67,631	△2,395	3,364	—
四半期利益		—	—	7,814	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	1,099	958
四半期包括利益		—	—	7,814	—	1,099	958
自己株式の取得		—	—	—	△5	—	—
剰余金の配当		—	—	△1,696	—	—	—
株式報酬に伴う報酬費用		—	14	—	22	—	—
利益剰余金へ振替		—	—	1,026	—	△68	△958
所有者との取引額等合計		—	14	△669	17	△68	△958
2023年12月31日残高		9,926	11,481	74,775	△2,378	4,395	—

	注記	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
		在外営業活動体の換算差額	合計			
2023年4月1日残高		3,210	6,575	93,205	11	93,217
四半期利益		—	—	7,814	1	7,815
その他の包括利益		1,897	3,955	3,955	0	3,956
四半期包括利益		1,897	3,955	11,769	2	11,772
自己株式の取得		—	—	△5	—	△5
剰余金の配当		—	—	△1,696	△0	△1,696
株式報酬に伴う報酬費用		—	—	36	—	36
利益剰余金へ振替		—	△1,026	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△1,026	△1,664	△0	△1,664
2023年12月31日残高		5,108	9,504	103,310	13	103,324

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2024年4月1日残高		9,926	11,494	79,373	△3,518	5,767	—
四半期利益		—	—	4,001	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	△661	168
四半期包括利益		—	—	4,001	—	△661	168
自己株式の取得		—	—	—	△4	—	—
剰余金の配当		—	—	△1,789	—	—	—
株式報酬に伴う報酬費用		—	13	—	24	—	—
利益剰余金へ振替		—	—	167	—	0	△168
所有者との取引額等合計		—	13	△1,621	20	0	△168
2024年12月31日残高		9,926	11,507	81,753	△3,497	5,107	—

	注記	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
		在外営業活動体の換算差額	合計			
2024年4月1日残高		7,314	13,082	110,358	14	110,373
四半期利益		—	—	4,001	0	4,002
その他の包括利益		1,636	1,143	1,143	0	1,143
四半期包括利益		1,636	1,143	5,145	0	5,146
自己株式の取得		—	—	△4	—	△4
剰余金の配当		—	—	△1,789	△2	△1,792
株式報酬に伴う報酬費用		—	—	38	—	38
利益剰余金へ振替		—	△167	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△167	△1,755	△2	△1,758
2024年12月31日残高		8,950	14,058	113,748	12	113,760

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益		10,663	5,492
減価償却費及び償却費		4,326	4,451
受取利息及び受取配当金		△429	△561
支払利息		116	171
営業債権及びその他の債権 の増減額(△は増加)		5,238	2,306
棚卸資産の増減額(△は増加)		2,615	1,497
営業債務及びその他の債務 の増減額(△は減少)		△4,196	1,415
その他		552	△1,428
小計		18,887	13,345
利息の受取額		206	268
配当金の受取額		230	282
利息の支払額		△120	△179
法人所得税等の支払額		△3,234	△2,236
営業活動によるキャッシュ・フロー		15,969	11,482
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		△5,147	△2,018
無形資産の取得による支出		△765	△819
有形固定資産及び無形資産 の売却による収入		3	11
その他の金融資産の売却による収入		280	40
その他		80	△471
投資活動によるキャッシュ・フロー		△5,548	△3,256
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		△6,884	△1,973
長期借入による収入		2,216	—
長期借入金の返済による支出		△1,605	△1,938
自己株式の取得による支出		△5	△4
配当金の支払額		△1,694	△1,787
その他		△534	△558
財務活動によるキャッシュ・フロー		△8,507	△6,262
現金及び現金同等物に係る換算差額		811	836
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		2,725	2,798
現金及び現金同等物の期首残高		20,548	26,687
現金及び現金同等物の四半期末残高		23,274	29,486

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討をおこなう対象となっているものです。

当社グループは、展開する事業の特性から、サンエースカンパニー、エレクトロニクスカンパニー、モーションカンパニー、その他の4つを報告セグメントとしています。

セグメント	主な事業
サンエースカンパニー	冷却ファンなどの設計・製造・販売
エレクトロニクスカンパニー	電源装置・サーボアンプ・ステッピングドライバなどの設計・製造・販売
モーションカンパニー	サーボモータ・ステッピングモータなどの設計・製造・販売
その他	電気機器販売・電気工事など

2 報告セグメントに関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						
	サンエース カンパニー	エレクトロ ニクス カンパニー	モーション カンパニー	その他	計	調整額	連結
売上収益							
外部顧客への 売上収益	33,428	17,528	31,305	4,294	86,556	—	86,556
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	—	—	—	1,738	1,738	△1,738	—
計	33,428	17,528	31,305	6,033	88,295	△1,738	86,556
セグメント利益	7,359	1,196	1,011	110	9,677	△3	9,674
金融収益	—	—	—	—	—	—	1,107
金融費用	—	—	—	—	—	—	118
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	10,663

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。

2. セグメント利益の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去です。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						
	サンエース カンパニー	エレクトロ ニクス カンパニー	モーション カンパニー	その他	計	調整額	連結
売上収益							
外部顧客への 売上収益	28,244	15,180	24,369	3,920	71,714	—	71,714
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	—	—	—	1,349	1,349	△1,349	—
計	28,244	15,180	24,369	5,269	73,064	△1,349	71,714
セグメント利益	4,634	76	107	12	4,830	73	4,904
金融収益	—	—	—	—	—	—	760
金融費用	—	—	—	—	—	—	172
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	5,492

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。

2. セグメント利益の調整額73百万円は、セグメント間取引消去です。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、経営基盤と事業体制の強化を目的とし、2024年4月1日付で社内カンパニー制を導入しました。取締役会は、各カンパニーの業績をもとに経営資源の配分、意思決定、評価をおこなうことから、報告セグメントについて、地域別のセグメント区分から、カンパニー別のセグメント区分に変更いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。